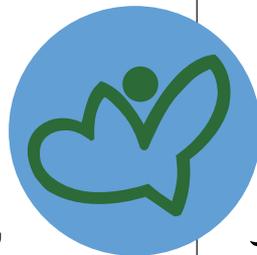




木江幼小中合同運動会



6月定例会/目次

編集後記

16

委員会報告

16

一般質問

3
~
15

決まった主なこと

2

おおさきかみじま
議会だより

第5号/2004年8月6日

大崎上島町議会

☎ (08466) 5 - 3 1 3 0 (直通)

FAX (08466) 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail: gikai @town.osakikamijima.hiroshima.jp

6月定例議会

平成16年6月定例議会は6月21日から6月25日までの会期で開催しました。町長の定例議会の説明を受け、活発な論議を展開し提案された条例、補正予算は原案どおり可決しました。

6月定例会で決まった主なこと

補正予算 1億6千万円を追加

- 大崎上島町教育委員会委員の任命について
長尾源一氏の委員の任命に同意しました



教育委員 長尾源一氏

条例

- ・ 大崎上島町振興基本計画審議会条例の制定
- ・ 大崎上島町給水条例の制定
- ・ 大崎上島町税条例の一部を改正
- ・ 大崎上島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用支弁に関する条例の一部を改正
- ・ 大崎上島町老人医療費助成条例の一部を改正
- ・ 大崎上島町乳幼児医療費支給条例の一部を改正
- ・ 大崎上島町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正

議会委員会条例

- ・ 大崎上島町大串干拓地開発調査特別委員会を設置

意見書

- ・ 地方の道路整備の促進に関する意見書の採択
- ・ 地方への負担転嫁を許さず地方財政の拡充強化を求める意見書の採択
- ・ 緊急地域雇用創出特別交付金制度の継続、改善を求める意見書の採択

一般質問

町政を問う

問 防災対策について

答 最大限の努力をし、防災に努めます



望月 住夫 議員
もちづき すみお

- ② 消防署救急救命士の数。
- ③ 地震計の設置場所。
- ④ ハザードマップの作成。
- ⑤ ドクターヘリ構想は。

答弁 (町長)

- ① 20名が欠員となっておりますが、現状で頑張ります。
- ② 救急救命士は5名です。
- ③ 地震計は本庁1、各支所へ1、計3ヶ所。
- ④ ハザードマップは海岸保全と整合性をとり作成する。
- ⑤ 県では現在試行中で17年度から本格実施の予定。

再質問 (望月議員)

南海地震は50年周期を過ぎたので特に注意をして欲しい。



- ① 消防団員の欠員補充は。
- 広島県は急傾斜地が全国で一番多く梅雨末期の集中豪雨被害は過去何回も経験している。また、瀬戸田町の山林火災が10日間続いた災害は忘れた頃にやってくる。次の点について答弁ください。

問 公共事業今後の見直しについて

答 新町建設計画によって進めます

質問 (望月議員)

- ① 平成17年度離島振興事業予定箇所。
- ② 新規事業はいかなる事業を計画されているか。

答弁 (町長)

離島振興事業を含め大崎上島循環線では町内5ヶ所外20ヶ所ぐらい。公共事業として行われます。

再質問 (望月議員)

景気対策のため経済効果のある事業の推進を求めます。

問 地籍調査について

答 引き続き行ってまいります

質問 (望月議員)

大崎地区は現在実施中ですが、東野、木江地区について、今後実施計画はありますか。

答弁 (町長)

東野、木江地区の公図は談合図で公図の訂正から着手しなければなりません。補助金の関係もありますので、大崎地区が終了後、順次行ってまいります。

問 広島中央広域への集約の破綻は

答 当面は従来どおりです



もりがわ いえただ 議員
森川 家忠

質問（森川議員）

広域への集約について、昨年12月定例議会の一般質問で町長は、大きな枠組みで協議を進めたいとのことでしたが、結果は断念する形になりました。

①このことにより、わが町に影響（デメリット）はないか。

②安芸津町が東広島と合併後、安芸津の区域は竹原広域への加入となる、とのことですが、消防の人事等についても、これまでどおりなのか、お尋ねします。

答弁（町長）

①特に影響や問題点はないと思っております。

②安芸津町は東広島市と合併するので、当面は、東広島市が竹原広域行政組合の一部事務組合に加入をして、従来のもので継承していくということになります。

しかし、消防や廃棄物の処理などの問題を将来、次の展開を考えていく際には、大きな視点の中で協議を進めるべきだと思っておりますので、大きな枠組みへの芽は残しておきたいです。



問 竹原・安芸津～東広島バス路線は

答 推移を見ながら町内への周知は図りたいです

質問（森川議員）

竹原・安芸津～東広島のバス路線が、今年の4月1日より開設されました。

①運行経費の赤字分は関係自治体が補てんするとなっているようですが、この2市1町で補てんをしていくのか。

②これまでの利用状況はどうなのか。

③この大崎上島町への協力要請はなかったのか

④町内へのPRが足りないと思えますし、今のダイヤでは利用がしにくいと思いますが、便利のいい路線となるように、町長として働きかけをしていただきたいと思いますが、どうでしょうか。

答弁（町長）

①安芸津町と東広島とが合併をする前提もあって、事業者と協議をし、実現して

ものと聞いております。補てん額等については、調査し報告します。

②乗車密度は、2・9人程度と聞いています。島内の利用者は少ないそうです。

③この町への協力要請は、具体的にはありません。

④当面は、今の推移を見させていただき、PRについては町として周知を図っていきたいと思っております。



▲ 安芸津港から東広島へのバス

問 町立学校の将来をどう考える

答 それぞれ具体的に解決したい



たにもと まさし 議員

も早い合併を目指すべきだ。
2 西野小は今年度完全複式になった。今後の対応は。
3 幼稚園は変則学区制である。親の意見をまず聞くべきでは。

答弁（教育長）

質問（谷本議員）
1 中学校については、①危険校舎の存在②親の7割の同意③教育委員会の統合目標の決定、以上の点から不賛同者の問題点の解消に努め、一日で

1 考え方は大体同じなのでそのように取り組む
2 複式は変則だ。保護者等の意見を聞く場を持つ。
3 今の時点で即資料の収集は考えていない。関係機関とまず協議する。

問 大崎上島の将来をどう考える

答 隣町の結果を見て考える

質問（谷本議員）

県内では合併が進み、関係の深かった豊、豊浜、安芸津町など合併が決まった。わが島は今後一島一町で行くのか、次なる合併を考えるのか、町民の大きな関心

事であり、町の運営にも関係する。どのよう考える。

答弁（町長）

近じか豊、豊浜、安芸津町の合併の結果が出るので、それを参考にして検討する。

問 庁舎横の埋立地、取り合えず使用できるように

答 取り組む

質問（谷本議員）

せっかく東野の中心に利用価値の高い土地を作りながら、放置され、荒れるに任せている。このままでは町のイメージダウンにもつ

ながる。周辺部に植樹などして、まず使えるよう簡単な整備だけでもすべきだ。

答弁（町長）

県有部分もあり、協議しながら出来るだけ早く進める。



問 住民の願いに沿った県道側溝等ふたの改良を

答 そのよう取り組み

質問（谷本議員）

順次改良されているが、バランスを欠いている。

答弁（町長）

十分皆さんの要望を聞いて取り組む。



▲ 盛谷湾



以前質問分の結果報告

問 教員住宅老朽化等の処分計画について

答 用途廃止も含め現在検討中です。

問 平和教育をどう具体的に展開するか

答 大変重要であり、教育全般で展開



中村 修司 議員

質問（中村議員） 平和カレンダーの活用形態と、今日時点での掲示は。

撤去されているとすれば、いつ誰が、どのような理由で撤去したのか、職員会議の議事録を提示の上、説明を。
また教育委員会はどうか指導し、教育長は今後の平和教育をどう展開すべきと考えるのか伺いたい。

答弁（教育長）

20年前から平和カレンダーは作成されているが、学校教育の中身とはなって

むための具体的ビジョンについて再度伺いたい。

再答弁（教育長）

教育委員会が法令の範囲を超える事は大変難しく、法令の範囲の中で、自主性、主体性を発揮したい。

おらず、現在も同様。本年町内2校での掲示がある事が分かり、指導の上撤去。他の5校についてはいつ撤去したかは不明。撤去について職員会議での議論はなく、議事録はありません。
教育委員会としては、中立性について校長に指導。私は、人権教育や平和教育は大変重要と認識しており、学校教育全般で身につけるべきと思っています。

再質問（中村）

平和教育研究所のカレンダーや夏休みのドリルが長年活用されてきたのは紛れもない事実であり、こうした答弁は大変残念。

また、平和の火リレーなど、平和教育を全面的に抑制しながら、平和教育が重要との答弁は全く矛盾しており、論議とならない。子どもたちの人間性を育



平和の火リレー

（保育所ひかり園の前）

問 活性化に向けた住宅政策の確立を

答 若者定住や高齢者への住宅政策が必要

質問（中村議員）

合併後一年、人口や高齢化率などから、非常に危機感を持たざるを得ない状況です。少なくとも、島に住んで島から働きに出る人が、島に働きに来る人を上回る事が必要と考えます。こうした事からも、若者定住や産業振興と連動させた、総合的な住宅政策を確立すべきではないでしょうか。

答弁（町長）

一年間で人口が181人減少し、高齢化率は、1%上昇し39.5%となっており、過疎の歯止めはかかっておりません。

若者定住に対する住宅政策は、家賃が公営住宅法の規制を受ける事もあります。高齢者への配慮も含め政策を確立していく必要があると思っております。教員住宅などの空き家の転用や

住宅用地の提供など率先してやるべきと考えています。

再質問（中村議員）

20歳までが60名、20歳から60歳までが138名の一年間の人口減となっております。主に、就労人口が流出しています。雇用の調整機能を発揮しながら、町内の空き家を借り上げるなどによって、早急に受け入れ態勢を整備すべきと思いますが、具体的答弁を。

再答弁（町長）

民間の空き家等の賃借をどのような形で実現できるか、意向調査をやってみる必要があると考えています。

問 今後の教育ビジョンは

答 合意形成を図っていく



三谷 良持 議員

質問（三谷議員）

町づくりで人材育成が重要なのは言うまでもありませんが、本町の人材育成では、その基礎をつくる中学校教育において小規模であるがゆえに幅広い人間形成、学力向上、クラブ活動等の充

実を図ることが難しくなっており、早期の改善が望まれます。教育委員会も、アンケートによる多数の保護者の声や、統合の方が現状を改善できるとの判断で今回の統合スケジュールを出されたと思います。

しかし、問題なのはその統合時期です。統合への条件が揃っているにもかかわらず木江小の改築により財政面の調整待ちで5年の先送りはその間、改善すべき問題点を放置することにな

ります。子どもたちの教育の充実が重要とする意識があれば、そのようなスケジュールにならないはず

です。今後の学校教育において現状の問題点への改善策も含め、どのような教育ビジョンを考えているのか伺います。

答弁（町長）

地域、家庭、学校が協力し合って良い環境のもとに次代を担うべき学力と能力を身につけていくのが当然だと思えます。

中学校の問題は保護者の3割くらいの方が不安を持っていてということになればもう少し整理をする時間が必要ではないかと思

問 今後の幼稚園運営は

答 通園区域の問題解消を検討



▲ ルンビニ幼稚園

質問（三谷議員）

今後の本町の幼稚園運営では過疎化や少子化、財政難等々で民間との共存は難しくなると考えます。

方向性としては、学区制の撤廃や行政負担の軽減を図るためにも大崎、木江両幼稚園の統合による法人化も含めた民間に委託していくべきではないでしょうか。また、行政の支援体制など民間へのスケールメリットで、保護者負担の軽減や幼稚園教育の充実が図れるのではないですか。

答弁（町長）

ご質問の趣旨は、私も賛同できます。ただ、それぞれ地域との関わりが非常に深いものがあります。色んな知恵を出し合いながら、良い仕組みを考えて行きたいと思えます。

当面公立の場合においても2つの園が協調していつて、今の通園区域の問題解消も検討してまいりたいと思います。



▲ クラブ活動中（東野中）

問 住民に約束した病院建設を

〔答〕 耳鼻科は今年度対応



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

社文教委員会で協議した。⑥耳鼻科は今年補正で対応する。新町になり通院助成拡大し改善できるものはする。

再質問（赤松議員）

財政悪化を町民に説明すべき。財政的困難と言いながら木江地区健康施設は年間維持費が5千万円かかるといわれる。健康施設建設は中止すべきだ。

町民からは合併してよかったことは議員の任期が延びたことだといわれた。本当に合併して良かったといわれるように約束した病院を建設すべきだ。

再答弁（町長）

財政の厳しさは赤松議員の議会だよりで周知されている。合併時、木江には健康福祉施設を約束した。透析施設は財政的に困難で、患者1人あたり過大な投資なる。一般診療は地元医師会の同意がない。通院助成費を拡大したい。

問 消費者保護の強化を

〔答〕 防犯教室を開く

質問（赤松議員）

お年寄りが契約や商品販売、リフォーム、おれおれ詐欺にまた小学生や中学生など携帯電話やインターネットの利用請求・通話に關し悪徳業者の標的になっている。島内で色々問題が起きている。

現状についてどのように考えているのか。消費者保護条例を作るべきでは。

答弁（町長）

安心して生活できるように、近所が連携とれる体制づくりや防災無線の利用、防犯教室を行う。

質問（赤松議員）

医療の確保を新町建設計画で決定した。①どのような経過で決定したか。②設置費用と各診療科目の年間予算は。③病院計画は。④医師へ働きかけは。⑤透析施設設置の費用の検証は。⑥眼科や耳鼻科の病院設置を約束しながら実施しない事について問う。

質問（赤松議員）

大崎の佐藤接骨院横の交差点にある、下水道マンホールポンプ制御盤は、車があぶつかると、故障が直るまで便所の利用制限や、バキューム車で、吸い取らなくてはならない。また盤があるため車が見にくい。設

答弁（町長）

専門職を採用していないのですべて自前の設計は困難です。指摘はわかった。今後、設計業者任せではよくないので、現場を考え町民の視点で仕事をします。

計を考えるべきではないか。

問 工事の設計について

〔答〕 住民の立場に立って実施



▲ 下水道マンホールポンプ制御盤設置場所

問 区や町民の要望について

〔答〕 すぐ回答する

質問（赤松議員）

町民の要望はどのように対処しているか。道路の補修は早急にすべきでは。

答弁（町長）

地域要望はすぐ回答する。出来るものは早く実施する。

〔答弁（町長）〕
①島の地域性や島民のアンケートで要望は多くあった。
②初期の施設設置・維持管理の経費で推計した。③計画は合併の前提なので尊重している。
④医師に働きはした。⑤福

問 年金の現状と法改についてどう思つか

答 今後も改善されると思っています



質問（松本進議員）

①国民年金に関して、町民の状況はどのようになっているか。

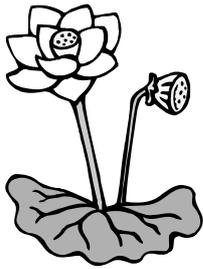
町として取組んでいけることはどうか。

②町長は、今国会での年金改革法案の問題についてどう思うか。

③町の町長など4役の年金の加入、保険料支払い状況は。公表されたい。町議会議員に対しての、年金に関する見方はどうか。

答弁（町長）

①国の事務に移行されており、町で状況を把握している状況にはありません。14年度の収納率は82%でした。被保険者より受給者数が多いです。②国民の皆さんに分かりやすく周知を図り、協力していただけるようにする事。出生率の低下で推計自体が変わってきており大きく考える課題だと思います。③私や他の特別職は、共済年金ですつきており、空白はないです。議員の方についてはそれぞれ状況が違いますので、申せません。



問 教育委員会の公開性の向上を

答 積極的に公開していきます

質問（松本進議員）

①教育行政における情報公開について、基本的考えはどうか。具体的な取り組みの内容は。

②教育委員会の会議の公開傍聴、議事録閲覧などはどうしているか。事務日程、委員会の要旨掲載などホームページ掲載しては。

③学校関係のホームページで、更新の協力、支援体制も必要と思うが。

④大崎上島町教育プランが、昨年4月に示されているが進行状況はどうか。教育行政の振り返りと、今後の取り組みについて、教育長はどのように考えているか。

答弁（教育長）

①教育委員会の事について、積極的に公開していく考えです。教育委員会広報、公民館だよりを発行し、町広報にも情報を載せています。

問 町内の循環型経済、活性化策について

答 地域の活力が向上するように努力します

質問（松本進議員）

3月議会で、循環型仕組みづくりを考えて欲しいと提起したが、その後どうか。雇用、経済面で重要だが、協議過程などはどうか。

答弁（町長）

町内でできることは、当然に対応していきます。効率よく発注して住民サービスへつなげていく視点で、予算組みの扱いもしています。まず、できる所から進めているのが現状です。

問 上島循環線の改良について

答 再申請しています



まつばら しいげる 議員
松原 茂

質問（松原議員）

丸山付近の改良工事については、旧町において長年執行部もまた議会も県土木事務所に陳情、要望を重ねて参りました。その後、県の理解が得られ、土地収用法の執行の告示がなされました。ところが、本年2月末に土地の所有者の了解が得られたのか、現地の告示板が不法投棄の看板に入れ変わりました。その後の経過と現状について、お尋ねをいたします。

答弁（町長）

平成14年10月18日に事業認定の告示となりましたが、昨年の半ばに申請書の書類に不備な点があり、再申請を言うことになりました。現在中国整備局で調査中ですが、本申請は16年7月初旬になされると、告示は16年12月頃の予定です。その後のスケジュールは17年になって、土地調査物件調査、それから採決申請が行われて、17年7月に最終の採決がなされるスケジュールと聞いております。

問 造船・海運特区申請を

答 特区申請は自治体のみでできます

質問（松原議員）

小泉内閣の改革の目玉でもある地域限定で規制を緩和する構造改革特区に、町内の造船所が研究開発したエアークッション船の特許を町が譲り受けるか、賃貸にするか、いずれにしても日本国内では大崎上島の造船所しか建造することができないような制度、造船海運特区に認定、申請を考慮していただきたい。地場産業育成の為、又地域活性化のチャンスと思われまますので、町長の所信をお伺いいたします。

答弁（町長）

国が持っている法律の規制をその地域に限定するに解除する、もしくは緩和する国の権限です。大崎上島地区は内航小型鋼船においては、最盛期には全国には全国シェアの20%を建

造する産地でした。エアークッション船の件ですが、非常にご苦労されて、総トン数に対する10倍ぐらいの積み込みにトン数が確保できるこれはエアールにおいて浮力において浮力を持たせて、効率的に構造物部門を減らしていつてなおかつ積載量を落とさない、画期的な仕組みだと聞いております。

ただ、残念なことに、運輸局は運行をしていく上での検査がまだ最終的に結論に至っていないというふうになっております。私も造船海運振興協議会の中で協議、相談をさせて頂いております。この地域がその事にかかわって、エアークッション船だけに係わるわけには参りませんけれども、全体の造船の産地ということになる。

運輸局サイドとしても、大崎上島地区だけを法律の制



▲ 造船所

限の中から解除してということには今の時点ではなりにくいというの聞いております。これからの進展を見なくてはなりません。基本的には他地域にない物が造られるという視点で考えた時、私の方も努力はさせて頂いたと思います。

問 明石・原田道路と才ノ峠林道線はいつ完成するのか

答 平成16年で完了します



信谷 俊樹 議員

質問（信谷議員）

- ① 明石・原田道路はいつ完成するのか。
- ② 才ノ峠林道（権現山線）は現在どこまで完成しているのか。
- ③ 才ノ峠林道（権現山線）の完成最終年度は。
- ④ 才ノ峠林道（権現山線）と明石・原田道路との交差点との関連はどうなるのか。

答弁（町長）

- ① 木江明石から大崎原田へ行く生活道路なので平成16年度で完成します。
- ② 丸尾木越線林道は完成しています。平成16年度で才ノ峠林道（権現山線）を完

問 緊急雇用創出事業について

答 緊急かつ臨時的な雇用の創出です

質問（信谷議員）

- 成します。
- ③ 神峰山の登山道拡幅部分との関連で平成23年度完了を目標にしています。
- ④ 明石側と原田側の地形と勾配が違いますから現道の頂上付近を切り上げて連結する林道を施工していきます。

問 農道補修・保全についていえますか

答 計画的に補修をやっています

質問（信谷議員）

- ① 柑橘農家の高齢化と蜜柑価格の低迷による農業離れを防ぐに観点から農道の補修・保全は絶対に必要と考えますが、どう思われますか。
- ② 今年度で終わる国の事業の中山間地直接支払い制度の延長を希望する観点から隣接する農道の受益者負担の状況はどうなっているか

答弁（町長）

- ① 農道の横断溝は通行上支障があり補修は早くしたいと考えています。舗装の痛みについては、痛みのあるところから順に補修をしていこうと考えています。
- ② 中山間直接支払い制度の中では、除草、農地面積内の用排水路の土砂の取り除き、清掃、里道などの維持、管理を行っています。農道の補修は行っていません。

問 東野地区の今後の下水道事業について

答 合併浄化槽対応と下水道整備推進をしたと思います

質問（信谷議員）

- ① 事業対象になっていて環境美化に考えています。
- ② 委託事業および直接実施する事業です。
- ③ 国の基金を活用し失業情勢に対応して緊急かつ臨時的な雇用の改善を図る目的でできた事業です。
- ④ 平成14年1月から平成17年3月末まで3カ年で今年度は50万円を計上しています。

答弁（町長）

今は、合併浄化槽で対応しています。地域性も鑑み、今後下水道事業も計画・推進していく考えです。

問 木江地区の下水道事業の進捗状況は

答 集落道の整備工事で若干遅れます

質問（信谷議員）

- ① 下水道事業は多大なインフラ整備事業なので、合併で事業が遅れたなどと言われるように努力してください。
- ② 明石地区は予定どおりか。
- ③ 沖浦地区の進捗状況はどうなのか。

答弁（町長）

- ① 漁業集落排水事業は平成18年度の工事完了を目指しています。
- ② 平成17年18年で順次施工完成していきます。
- ③ 沖浦上の谷地区での集落道整備工事で若干遅れます。

問 新町合併計画の進捗状況は

【答】 出来ることから取り組んでいる



くまさ たかのり
熊佐 尊徳 議員

質問（熊佐議員）

合併して早くも1年2ヶ月が過ぎました。建設計画に33の重点施策が掲げられています。重点施策の中で進んでいる、又目途がついているものにはどのような施策があるのか。新町建設計画の重要性をどのように考えられているのかお尋ねします。

私としては大半が目標どおりに進んでいないと認識しております。町民の大きな期待を裏切っているのが現状であると思います。議員として非常に責任を痛感しております。町長として

問 職場確保に対する町長の考えは

【答】 東広島圏域は通勤圏内と位置づけられます

質問（熊佐議員）

遅れは何か原因だと思われるか、又合併に多くの調整項目がありました。その調整はどの程度進んでいるのかお尋ねします。

答弁（町長）

計画どおり行いたいと思っても相手がある事なので思い通りに行かない事をご理解ください。

木江小学校の改修、東野のプール、防災行政無線の一本化、光ファイバー情報網の整備等を積極的に取り組んでいます。コミュニティバスの件は既存業社が、県・国の補助を受けて運行しているようで、その間はそれを続けるべきだと思います。多くの調整項目はそれぞれの団体の理解を得ながら進めて行きます。

質問（熊佐議員）

現在の島の職場環境は建設業界、造船業界の状況を見れば非常に厳しいと思います。島内ではほとんど新規雇用は見込めない状況です。私は前から日本でも有数の企業進出地である東広島周辺に職場を求めの方策を町を上げて早急に取り組みで

答弁（町長）

東広島地域は有効求人倍率からみても明らかに雇用状況は恵まれた地域なので、職安などから情報をみながら知らせたいと思います。

Uターン、Iターンを希望する人達が何を望まれているかを十分把握した上で企業等にお願いたいと考えます。

交通の件は芸陽バスが4月1日より、竹原、安芸津、東広島の間でバス運行をしているので町民に周知が必要だと考えます。

例えば庁舎内に臨時雇用対策室を作り東広島との職安と連携し、企業廻りを重ねて、希望する町民とUターンを希望する島出身者との調整を計るべきだと考えます。安芸津から町営か組合運営のバスを朝、昼、夕と3回くらい運行し職場送迎と町民の他目的の利用と役員職員の出張（年間約5百人）利用を合わせた運行を行うべきだと考えております。町長の職場確保に対する考えをお聞かせください。



▲ 大西フェリー

問 今後のバス運行は

答 既存のバス路線を確保し、幹線からはずれた路線も今後検討し作業を進める



福増 進 議員

質問（福増議員）

島内の循環バス（生活路線バス）ではカバーしきれない地域の方のために、コミュニティバスの運行が現在検討中だと思います。交通問題協議会で色々議論されていることと思いますが、その進捗状況、また運行方法をどのように考えているのか伺いたい。

答弁（町長）

現在は大崎バスが幹線分の補助路線として運行されており、コミュニティバスは、バスが運行されて

いない区域の交通体系の整備ということからいえば、当然必要性は感じておりますが、当面は今の補助バスとして補助が受けられる間は、これを既存の路線として確保しようと思っております。

ただ、それ以外の区域の部分はどうフォローしていくかについては、まず町の方で選定路線をつくり、既存業者も含め、参画できる業者に見積依頼し、そこで町が事業主体となるか、業者に委託運営してもらうかを検討していきたいと思っております。

当面は、大崎上島地区の幹線以外の部分の路線は、当然確保することが望ましいというところについても、作業を進めていきたいと考えています。



▶ 大崎バス

問 フェリーの運航料金の低廉化は

答 回数券の有効期限の延長などで若干改善され、今後も協議していく

質問（福増議員）

フェリーの運航料金の低廉化について進捗状況は。また、交通問題では現在どのように取り組んでいるのか伺いたいのと、フェリーの運行時刻について、現在の祝祭日に竹原発垂水行きが便が17時以降19時10分までないが、このように偏った運行についても協議しているのかも併せて伺いたい。

答弁（町長）

フェリー問題については島民にとって海上交通の利便性からみても、料金が少

しでも安い方がいいというのは、大きな願いであり、合併設計画の中でもその部分は主要項目の一つであります。関連業者との話は従前から続けてきましたが、回数券の有効期限が6ヶ月に延長されたことにより、これは一歩前進だと考えています。フェリーの時間帯についても、偏った運航をしていることも承知しておりますが、利用者の状況をもっと調査し考えていきたい。その後、必要であれば、要望していきたいと考えております。

問 東野、木江各公民館の図書を充実すべきでは

答 効果的な読書活動を進めます



ながお まなぶ 議員
長尾 学

答弁 (社会教育課長)

情報プラザ・エルの充実と各公民館に設置している利用者末端の活用、図書グループへの団体貸し出し、移動図書の充実などにより、効果的な読書活動を推進していく。

質問 (長尾議員)
当初予算では、情報プラザ・エルの図書購入費しか計上されていません。東野・木江各公民館の図書購入費を予算計上し、図書の充実を図るべきである。



問 鮎崎港仮設トイレを早急に設置すべきでは

答 取り組みます

質問 (長尾議員)

県の港湾整備事業が行われるまでに、町が仮設トイレを設置し、利用者の利便性を図るべきである。

答弁 (町長)

県に要望していくとともに、仮設トイレの設置ができるよう精査してまいります。

問 9千2百万円の滞納金の回収計画と、回収目標は

答 今年度は1千5百万円を目標に

質問 (長尾議員)

① 4月の機構改革により、税務課収納係ができ、積極的に回収を行っていると思えますが、4月からの回収金額はいくらか
② 今年度の回収計画と回収目標金額はいくらか

答弁 (税務課長)

① 14年度分までの回収が百万円です
② 滞納者への早期対応と、調査の徹底等を行い、今年度は1千5百万円を目標に回収する。使用料についても事業課と十分接点を見つけて取り組んでいく。

問 バス再運行に対し、新たに補助金を出す必要があるか

答 国・県から補助金をもらうつもりです



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

質問 (渡辺議員)

昨年の10月より路線バスの土曜日運行が休止されて

いたが、今年度4月より1ヶ月約27万円の補助金を出して再運行されることになった。バス運行会社に対しては、すでに国及び県の補助金それぞれ1千2万円、町補助金5百73万円、計2千5百78万円を出しているのに、一方的に運休したものの再運行に対してなぜ新

答弁 (町長)
今の国・県からの補助金をもらって運行している路線バスは、乗車密度5人以上が必要(運送収入から走行距離と平均運賃を掛けた数を割って計算したもので、5人を割ると国・県からの補助金のカットされる)であるので、この乗車密度5人を維持するためには、乗車率の悪い土曜日運行を止める必要があった。
しかし、通院とか高齢者の交通手段を持たない方にとって不便なので、運行を再開した。従って、土曜日の再運行費は、今出している補助金とは別の単独費であり、1日6万5千円から運賃収入を差し引いた残りの分を精算額として、委託料で払っています。

問 下水道法について

答 厳しい制約がある



もりわか けんじ 議員 森若 巖

再質問 (森若議員)

下水道法第48条及び第11条の文面は。

答弁 (上下水道課長)

48条には11条3項又は4項の規定による命令違反した者は30万円以下の罰金に処する。また11条の3項には処理区域内において、組み取り便所が設けられている建物を所有するものは処理が開始後3年以内に水洗便所に改造しなければならぬ義務がある。

問 町が計画している建物の計画状況は

答 ジョイントで施工は進めていく

質問 (森若議員)

税金を使って物をつくる視点で考えると、心配しながら発注するよりも、ジョイントで施工の方が心配ないとの事、その考えは今でも変わらないか伺いたい。

答弁 (町長)

島の業者が施工能力が十分であるかないかを判断する実績とか経験がないので、工事規模、内容によってそういう方法がベターだと思っている。

15cmしかない状態にしてそのいい訳が土壌改良したとの事。そのあげくが床下換気が悪くカビが発生し、キノコが床板に生えた。こんな事は島内の業者が施工するといつまでもその仕事は残る。だが島外の業者の場合はその工事が終わるとハイスようならで終わる。だからこんな無責任な工事を施工する。それでも大手とのジョイントでこれからの工事を進めるつもりか伺いたい。

再質問 (町長)

このような事が起こらないよう十分反省して行うのでご理解いただきたい。

再質問 (森若議員)

多額の金をかけて、大手に施工を依頼した「海と島」の歴史資料館の床板に、工事完了一年もたない間になぜあのような事が発生したかと思っているか。泥を撤去すれば、床下50〜60cmあるものを撤去せずそのまま工事を施工し、床下10〜



産業建設常任委員会 町営住宅の現状を調査

委員長 辰田 真司
副委員長 森若 巖
委員 望月 住夫 松本 文昭 蒔田 篤雄
松原 茂 尾尻 公雄 松本 進
川口 信夫 川崎 晟司



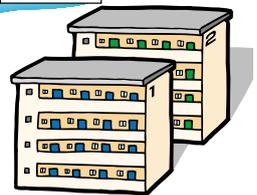
◆産業建設常任委員会報告◆

7月7日、産建委員全員で町内にある町営住宅の現状について調査しました。町営住宅の数の多いのに驚き、また、建築後かなりの年数が経ち、老朽化した建物がかかりあることが目についた。

老朽化した町営住宅の全てに税金を入れてリフォームするということは町財政を考えると困難であると思う。そこで委員会としては、この際、完成年数が経ち、売却可能な町営住宅は入居している方に購入していたかどうか、また、空き室となっ

た時点で解体し、必要な方に売却して、町営住宅の数を少し整理していったほうが良いのではないか。また、新たに町営住宅が必要になった時には、現状にあった高齢者や若者に適合した住宅を建設されるように町に提言する。

※老朽化のため、一部公募を停止している住宅も含まれています。



編集後記



参議院選挙は小泉首相の年金問題について「人生いろいろ、会社もいろいろ、社員もいろいろ」と「強行採決」の「おごり」を国民が感じ、強く自省を求めた。原子爆弾がヒロシマに投下され今年で59年が来ます。「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返しませんから」と平和公園の碑文。今学校ではヒロシマ・ナガサキの原爆投下の日・時間を正確に言える生徒は年々少なくなっています。イラクを始め多くの国で戦争・内乱が起きて一番弱い女性や子どもが犠牲になっっています。戦争のない平和な社会を作るため一人一人が考えましょう。

この夏関東では40度近くの猛暑になっています。熱中症にならないように体調を整えるとともに、十分な水分補給を行いましょ。